平成 21 年（2009 年）の箱根山の火山活動

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○ 2009 年の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図１）

環境省・インターネット自然研究所の箱根・大涌谷カメラでは、大湧谷の噴気等に特段の変化はありませんでした。

・地震や微動の発生状況（図２）

２月に駒ヶ岳周辺を震源とする地震が一時的に増加し、２日 08 時 08 分に発生したマグニチュード[1)] 2.3 の地震により神奈川県の箱根町で震度１を観測しました。

また、８月に姥子（大涌谷の西側約２㎞）周辺を震源とする地震が一時的に増加し、６日 06 時 03 分に発生したマグニチュード 3.2 の地震により静岡県の三島市及び富士宮市で震度２、神奈川県（小田原市、南足柄市、山北町、箱根町）などで震度１を観測しました。

箱根山では、2001 年６月から 12 月にかけて、駒ヶ岳周辺を震源とする活発な地震活動（最大地震 M2.8）があったほか、その後も年に数回程度の割合で一時的な地震の多発を繰り返しています。

上記以外の期間は、地震の発生回数は少なく静穏に経過しました。なお、火山性微動は観測されませんでした。

１）マグニチュード（M）は地震の規模を表します。

・地殻変動の状況

気象庁の体積歪計[2)]や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計[3)]による地殻変動観測では、特段の変化はありませんでした。

２）センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。

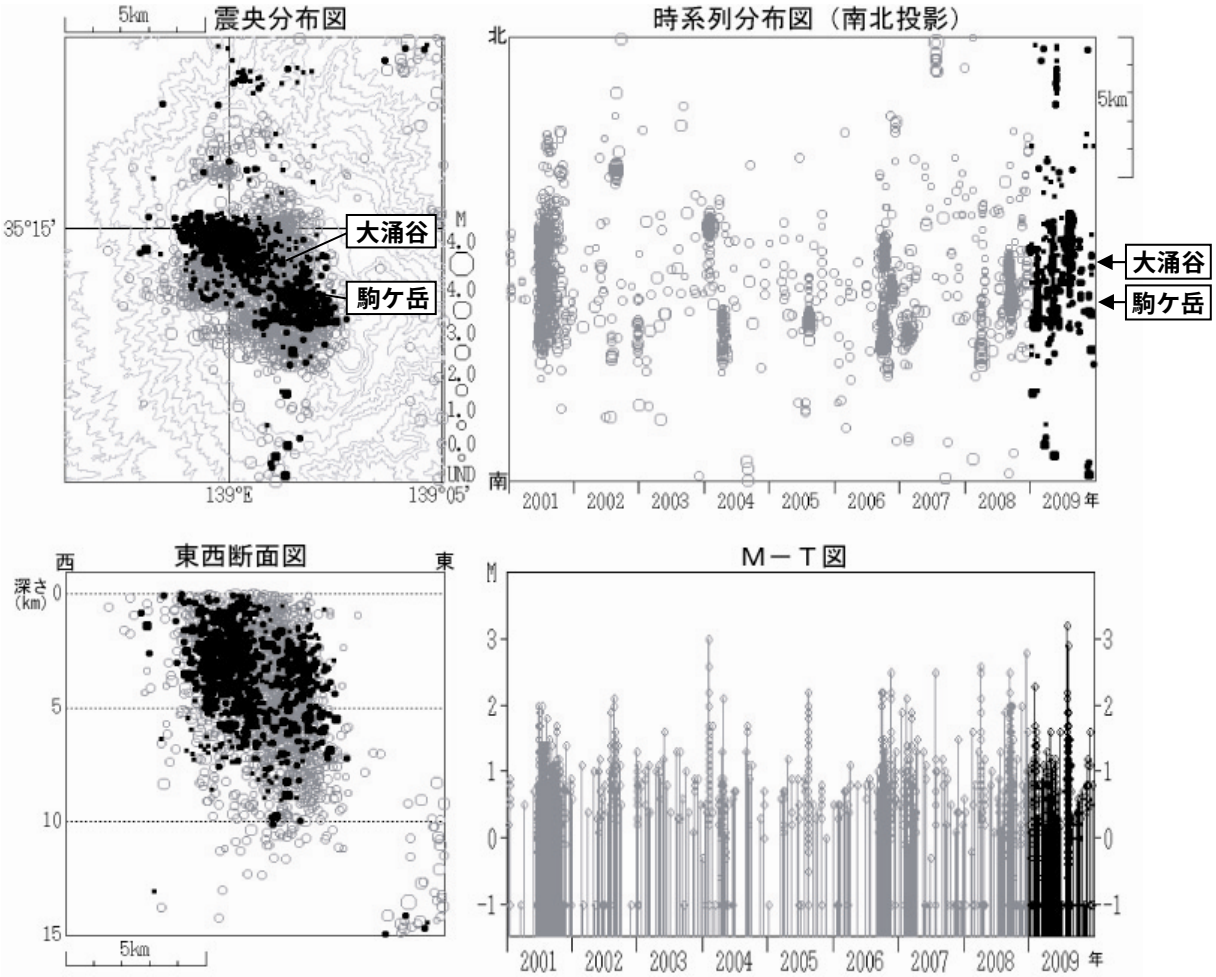
３）地面の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。

この資料は気象庁ホームページ（http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html）でも閲覧することができます。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000(行政界・海岸線)』『数値地図 50m メッシュ（標高)』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号)。

図１※　大涌谷の状況（12 月 20 日、環境省インターネット自然研究所の箱根・大涌谷カメラによる）



○：2001 年１月１日～2008 年 12 月 31 日　●：2009 年１月１日～12 月 31 日

図２※　箱根山　震源分布図[1)]（2001 年１月１日～2009 年 12 月 31 日）

図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。

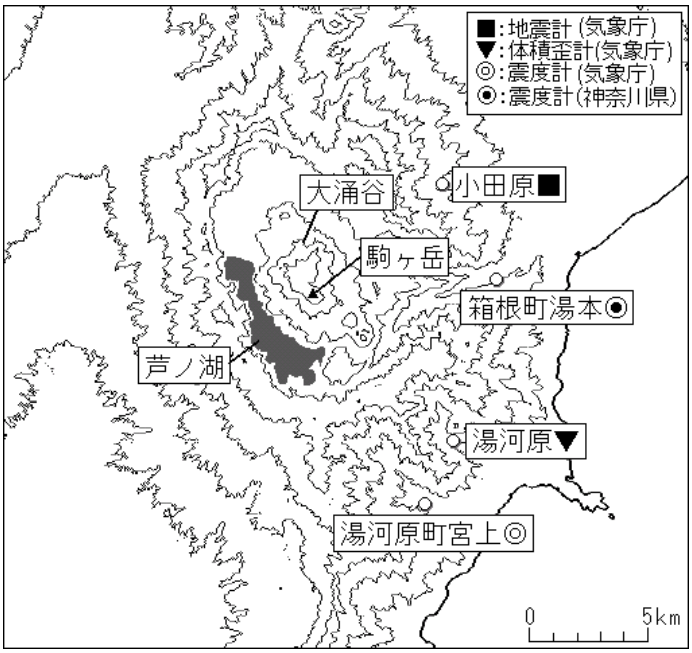


図３　箱根山　観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）

表１　箱根山　観測点一覧

種　類	地　点　名	位　　置			設置高 (m)	備　考
		緯　度	経　度	標　高		
地震計	小田原	35°15.8′	139°05.3′	380	0	短周期３成分
震度計	湯河原町宮上	35°08.8′	139°04.8′	200	0	
体積歪計	湯河原	35°10.0′	139°05.4′	187	-150	